

## 児童発達支援及び放課後等デイサービス自己評価表について

2021年度 でんどん虫の家・町田

サービスマニュアルのご記入、ご提出ありがとうございます。会員47世帯に配付し、無記名で封筒に入れて提出してもらう形を取り、38回答集まりました。

担当制の療育を専門としている設定上、送迎や長時間預かりも無いでんどん虫ですが、目の前の子の発達支援には何か必要か、何が出来るかを考え、短期・長期の目標を掲げ、年間を通して同じ職員が担当者となり、親御さんと一緒に悩み、乗り越え、喜びたいという気持ちで活動が続いています。ですが、専門分野を持つ担当職員を確保し続けるためには、現状の法整備ではなかなか運営が厳しく、会員の皆様にはご負担、ご心配をおかけしています。活動をがらりと変えることは難しいですが、皆様により安心してでんどん虫を利用していただけのように、改善できるところは変えていきたいと思います。

ご意見をまとめたものは、ホームページと保護者控え室のファイルでも閲覧できます。

⑩親の会、⑪避難訓練については以下に記します。

⑩親の会について

コロナ禍のため今年度も活動できませんでしたが、保護者同士の交流、そして療育の進め方や職員に言いづらい相談事(虐待の可能性等)、何か懸念があった場合に、親全体の意見を集約したり行動を起こしたりすることが出来る親の会という枠組みは、でんどん虫が皆様にとって安心安全の場であり続けるために必要な存在だと思っております。また、不備のある制度への署名運動等の働きかけが必要な際にも、親の会の存在は大切なものです。

「OBさんを招いての勉強会や会員間の交流を深める親睦会が出来ずに残念だった。」

「以前はとても良い時間が持っていた…コロナが落ち着き、何か企画があれば参加したい。」

等のご意見もあれば、「仕事等で参加が難しい親が多くなっている」ので、親の会の縮小を願うご意見もありました。

皆様のご負担を減らすべく、役職や業務軽減のご提案を11月にさせて頂きましたが、今後も更に一緒に考えていけたらと思っております。

⑪非常災害対策・避難訓練について

送迎が無いでんどん虫ですので、非常事態時には保護者と子供達の安全を確認した上で自宅に帰ってもらうことを基本とし、でんどん虫に留まる方が安全な状況の場合はその場で待機し、移動・避難が必要な場合は、職員が避難所へ誘導します。

例年災害伝言ダイヤルの試聴日を設定して非常時に備えていましたが、今年度は実際に数名の子供達と指定避難所まで歩き、その報告をさせて頂きました。でんどん虫の活動の性質上、全員での避難訓練は難しいですが、今後も実際の療育時間を使って、子供と職員とで、緊急時への意識を高めていきたいと考えています。

改めまして、掲示してある町田市ぼうさいマップを今一度ご確認の上、避難所等の場所を知っておいてください。

今後、お気づきの点やご意見がありましたら、いつでも職員までお声かけ下さい。よろしくお願致します。



満足度				
①	子どもは通所を楽しみにしているか	36	2	毎回楽しんでいる。 嫌な支えはないです。
②	事業所の支援に満足しているか	36	2	親もとても大助かり場所とさせていただきます。 また卒業後、外に出る機会が増えたいので、 担当の先生が子ども供を返すまで 見守りをしてください。 長期休中の課題は完済している不安です。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

★ ①⑧⑨プログラム

- ・必要に応じて、面談は、ワッピも設定させていただきます。
- ・特にグループ療育も受けています。希望の際は、ワッピもお声かけください。
- ・職員御自身の面談の提案をする場合があります。

2021年度 職員11名

事業者向け 放課後等サービス自己評価表

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	職員の配置数は適切であるか	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	平日、休日、長期休暇に際して、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成しているか	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
25565	11	4	9	9	10	3	9	11	4	8	8	5	6	9	10	11
いいえ																
改善目標、工夫している点など	更なる配置の工夫、運営上難し	本所ではバリアフリー化が、真子(2F.階段)は改善が困難であった	送迎等の希望には応じている			以前一度実施、その後は自己評価表の回答・意見を見直し、改善を図っている 確保は2021が、基本的には各自で必要を研修で探している	一人一人含め、活動プログラムの作成は2021が、PDRと2021が、より深く深くかかっている 今後の課題である	面接時のKIDSを使用しているが、年齢的に対応しづらい場合もある 相談(予約)は、予約が、基本的には担当の決まっている	会議状況は、固定している場合もある	コロナ禍により、今年度も季節行事の実施は難しい	療育PDRと2021年毎年の作成は2021年度途中の組の合点変更は難しい	必要に応じて、定期的な情報共有を行っている				

適切な支援の提供

⑭	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	3		毎回の療育を確認し30分、半年一度のみ行うとする。
⑮	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5	6		ガイドラインを職員室に設置、必要に応じて確認している
⑯	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2		依頼が来れば、担当者で参画させている
⑰	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	8	2	保護者から要望が来れば行う (送迎か車に乗る、直接交流は少ない)
⑱	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		10	1	医療的ケアは出来ずいざ、保護者同意・付与済みの元、通所（2名）（現在、医科健児はいる）
⑲	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	6	1	保護者と通い依頼が来れば実施（2名）
⑳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	6		）
㉑	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	4	
㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	10	現在、連携機会無し
㉓	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7	3	1	福祉総務課、子ども課の子どもサポート会へ参加
㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			
㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	7	2	トレーニングは出来ずいざ、直接的なペアレント・トレーニングは行っていない。 専門機関に集める事業内容、必要に応じて面接は設定している
㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			公開面接、及び総会、お便りの実施 出来ず限りとする
㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			
㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	2	1	コロナ禍により、今は活動が難しい、2022年度より再開予定

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等

⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		
⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			毎月の通信及び必要事項がわかるシートを作成、周知している
⑮	個人情報に十分注意しているか	11			
⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			努力しているが、星野さん所がわからず改善して頂く。
⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか		2	9	コロナ禍により交流、広報活動が減少している。知事から機会がない多岐にわたる防犯対策を細羅びていく。本年度中に改善します。
⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11			
⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	4	1	更に努力します。
⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			
㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	3		重要事項説明書に記載していき、
㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	6	4	通達、食事の提供機会は紙の、行事等、これは確認する
㉓	ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			職員室に事例集を作成、設置して、情報共有している

非常時等の対応